

事業計画書

(くすのき補助金)

事業の目的 ① 現状の課題 ② 市民(地域)のニーズ③ 必要性	① 地域交流活動、地域住民の和、地域包括センターとの交流。 次の世代の子どもたちに伝えていく三世代教室を開く。 ② 2025年問題の模索 ③ 「とてもよい事業なので入会したい」という特に老人クラブ会員からの問い合わせが増えてきた。小学校の同級生から寄付金の申し出があった。				
事業内容	主な内容 実効性	・野菜作り ・スイカ割り大会、さつまいもつるさし、さつまいもの収穫、さつまいも焼き芋会 ・花作り 5月・9月・12月、花の植え付け会 ・三世代教室			
	スケジュール 実効性	予定日	予定内容	予定会場	参加者数見込
		5月	さつまいもつるさし	あけみ園	30名
		6月	サトイモ植え付け	〃	50名
		7月	スイカ割り大会	〃	30名
10月		さつまいもほり	〃	50名	
11月 2月		サツマイモ焼き芋会 サトイモ煮会、菜の花観賞会	〃 〃	40名 各30名	
実施体制① (実施メンバー) 実効性	会員、町内有志。老人ホーム入所者、サポーター、子ども・その保護者				
実施体制② (団体の特性) 専門性	老人クラブ会員、老人ホーム入所者・サポーター 地域の子ども・その保護者				
目新しさ エネルギー 先駆性	三世代教室 ・論語塾 ・折り紙教室、読み聞かせ				
市民(地域)への効果 公益性	農園(あけみ園)を通る人が「今日は何をしているのですか」と興味・関心を持って聞いてくれるようになった。 口コミで、他の老人クラブ会員が「行ってもいいですか」と尋ねてくれるようになった。				
今後の取組 継続性	三世代教室への子どもの参加が少ない。冷暖房完備の会場が確保されているので、もっと多くの子どもたちに声掛けをしたい。				